

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女平等推進センター維持管理			整理番号	128		枝番号	
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204		連絡先電話番号	3393-4410	
係名		男女平等推進センター			上位施策名				No
予算事業名		男女平等推進センター維持管理		コード	12650		昨年度整理番号	124	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等				
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 男女平等推進センター条例				
	男女平等推進センターの建物、設備及び利用する個人・団体				(2) 行政財産使用料条例				
	男女平等推進センターの建物、設備及び利用する個人・団体				(3) 男女平等推進センター登録団体使用取扱要綱				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
男女平等推進センターの維持管理(建物管理については、併設の児童青少年センターに執行委任)及び集会室、印刷機・電子複写機使用料の徴収				適切な維持管理等により、安全かつ快適に利用できる施設とする					
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
(1) 集会室等利用件数				(1) (代) m <sup>2</sup> 当たりの維持管理経費					
(2) 情報コーナー利用人数				(2)					
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標(1)	件	707	679	700	687	700	98.1	
	活動指標(2)	人	2,469	2,343	2,500	2,149	2,400	89.5	
	成果指標(1)	千円	15	15	17	12	14	84.7	
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	6,376	6,331	7,058	5,928	6,993	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0		
	(内)委託費	千円	3,574	3,621	3,575	3,440	3,574		
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,349	1,365	1,359	1,359		1,359
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +	千円	7,725	7,696	8,417	7,287	8,352		
	単位あたりコスト( - )÷	円	10,926	11,334	12,024	10,607	11,931		
	財源	受益者負担分	千円	58	62	119	46		119
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0		0
特定財源計 +		千円	58	62	119	46	119		
差引:一般財源 -		千円	7,667	7,634	8,298	7,241	8,233		
受益者負担比率 ÷	%	0.8	0.8	1.4	0.6	1.4			
17年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)			
	施設保守管理委託					3,226			
	施設管理経費					1,413			
	光熱水費					1,289			
	その他 ( )					0			

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	98.1	活動指標(2)の17年度達成率%	86.0	17年度予算執行率%	84.0
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	男女平等推進センター(ゆう杉並)は平成9年に竣工し、男女共同参画社会の実現をめざす拠点として設置された。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・最寄の駅から離れているため、利用しづらい。				
	今後の予測	・主な施設修繕等については、児童青少年センターで行っているが、建設から10年が経過し、修繕費が増加することが見込まれる。 ・利用者は、あんさんぶる荻窪等、交通の利便が高い施設の利用を優先することが予測される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 男女共同参画社会実現をめざす拠点として、区民・団体が安心して活動できる施設となっている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 団体育成を目的としているため、目的外利用を除き施設利用は無料となっているが、施設利用に係る区の方針が統一されれば、見直しも可能である。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 施設の老朽化に伴い、修繕費が増加する。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 清掃業務や機械設備委託等については協働を行っている。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減                    コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設管理費のうち、修繕費については、経年劣化により年々増加していくと予想される。今後は、安全性・快適性の向上を図るため、併設の児童青少年センターとともに、計画的な事業実施を検討する必要がある。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	大規模な修繕等については、政策経営部営繕課等との協議も必要				
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	施設修繕等の事業については、併設の児童青少年センターと協議し、一本化して行う。男女平等推進センターでの予算計上は行わない。				

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女共同参画のための事業運営				整理番号	129		枝番号	
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	125
係名		男女平等推進センター				上位施策名			No	
予算事業名		男女平等推進センター事業振興		コード	11950	男女共同参画社会に向けた環境整備			69	
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		9年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 男女平等推進センター条例 (2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画 (3) 男女平等推進センター広報編集委員会設置要綱					
	区内在住・在勤・在学者、区内団体		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		男女共同参画社会づくりに関する情報等の提供や、講座等の開催により、意識の向上を図る。 区民自らが講座を企画する機会を設けることにより、積極的な地域活動への参加やグループ育成活動を促進する。							
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 講座開催延回数		(1) 講座参加満足度 = 評価(5点満点) / 回答人数								
(2) 編集委員会開催数		(2) (代)利用者登録者数								
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標(1)	回	23	29	20	32	20	20	160.0	
	活動指標(2)	回	45	43	40	35	40	40	87.5	
	成果指標(1)	点	4	4	5	4	5	5	88.6	
	成果指標(2)	人	56	53	50	28	40	40	70.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	6,003	5,436	6,687	5,015	6,830	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円								
	(内)委託費	千円	106	307	786	458	786			
	職員数(常勤   非常勤)	人	4.03   1.00	4.03   1.00	2.80   1.00	2.83   2.00	2.70   1.00			
	人件費	千円	36,246	36,673	25,368	25,640	24,462			
	常勤職員分(超勤分含む)	千円								
	非常勤職員分	千円	2,759	2,880	2,890	5,780	2,890			
	総事業費 + +	千円	45,008	44,989	34,945	36,435	34,182			
	単位あたりコスト( - )÷	円	1,956,870	1,551,345	1,747,250	1,138,594	1,709,100			
	財源	千円								
受益者負担分	千円									
国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -	千円	45,008	44,989	34,945	36,435	34,182				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み	内 容		規模		単位	事業費(千円)				
	情報収集・発信 : パートタイマーの雇用		2		人	2,993				
	セミナー開催 : 各種講座の開催		9		講座	1,040				
	交流促進 : 区民企画事業の実施		4		講座	769				
	託児謝礼 : 編集委員会及び講座開催に際して託児を実施		延べ47		人	213				
その他 ( )					0					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	160.0	活動指標(2)の17年度達成率%	87.5	17年度予算執行率%	75.0
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成9年度に男女平等推進センターを開設したが、当初から交通の利便が悪いことへの苦情があった。近年「あんさんぶる荻窪」等、駅に近い施設が開設されたことの影響により、女性団体等の利用が減少している。また、団体等の構成メンバーの高齢化に伴い、登録団体数の減少もみられる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	受講者から男女平等推進センターでの講座開催は、交通の利便が悪いとの苦情が寄せられている。また、区民企画講座の企画団体からも、講座開催場所として、交通の利便のよい区民センターやあんさんぶる荻窪を使用したい旨の要望がある。					
	今後の予測	団体等の構成メンバーの高齢化に伴い、登録団体数の減少が予測される。区民の生き方・価値観の多様化により、講座等の事業に対する期待も多様化していくと考えられる。また、区民が企画する講座等も増加する事が予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:男女共同参画社会の実現に向けて、講座の開催、情報収集・発信の拠点、個人・団体活動への支援が必要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:事業の進め方等により、区民企画講座等の増加が期待できる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容:受講料の設定や教材費の徴収などについて検討の余地がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [対象の縮小] (具体的内容 )	理由または具体的内容:男女平等推進センター広報誌(ゆうCan)の発行体制の見直しにより、コスト削減が可能					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 区民企画講座事業として、区内NPO法人及び市民活動団体へ講座事業の委託を行っているほか、杉並女性団体連絡会と共催でのリーダー養成事業、東京女子大学との共催で女性問題啓発講座を行っている。また、男女平等推進誌の発行については、公募区民が編集を行っている。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今年度中に事業全体の見直しを行い、協働・コスト削減を図る。	
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 女性団体等との調整の必要がある	
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 予算の範囲内で事業の見直しを行う。	

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		女性のための相談				整理番号	130		枝番号					
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	126				
係名					男女平等推進センター			上位施策名		No				
予算事業名					男女平等推進センター事業振興		コード	11950		男女共同参画社会に向けた環境整備	69			
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 男女平等推進センター条例							
	区民						(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				男女平等推進センターにおいて、一般相談(火～土曜9:00～16:00)、法律相談(毎木曜13:30～16:30、月1回夜間、予約制)、心の相談(毎金曜13:30～16:30、予約制)を実施。相談料は無料。		(3) 杉並区女性総合相談(一般)実施要綱							
活動指標名(式)				(1) 年間開催日数(延)		(2)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
								悩みを持った区民が、解決方法が見つかり、安心して生活を送れるようになり、いきいきと社会に参加できるようになること。						
								成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
								(1) 相談件数 = 一般相談 + 法律相談 + 心の相談						
								(2)						
区分	単位	15年度実績		16年度実績		17年度				18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	日	338		328		338		335		340	340	98.5	
	活動指標(2)													
	成果指標(1)	件	1,606		1,957		1,900		1,735		1,800	1,800	96.4	
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,872		1,804		3,146		2,879		3,121	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円												
	(内)委託費	千円												
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.15	2.00	0.15	2.00	0.15	3.00	0.15	3.00	0.15			3.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,349		1,365		1,359		1,359				1,359
		非常勤職員分	千円	5,518		5,760		8,670		8,670				8,670
	総事業費 + +	千円	8,739		8,929		13,175		12,908		13,150			
	単位あたりコスト( - )÷	円	25,855		27,223		38,979		38,531		38,676			
	財源	受益者負担分	千円											
		国・都等からの支出金	千円											
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	8,739		8,929		13,175		12,908		13,150			
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
17年度の主な取組み	内 容					規模		単位	事業費(千円)					
	報酬 : 相談員報酬					延べ65		人	2,873					
	事務費								6					
	その他 ( )								0					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	99.1	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	91.5
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年5月から「心の相談」を開始した。社会状況の変化に伴い、一般相談窓口にも、心の病を抱えた相談者からの相談が増加している。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	女性総合相談室は、女性の立場に立って相談に乗ってもらうことができ、問題の解決や力強く生きていくための支えとなっているとの意見が寄せられている。				
	今後の予測	最近の社会状況を反映し、相談件数の増加や、より深刻な相談が増すことが予想される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:ドメスティック・バイオレンス(以下「DV」という。)・離婚・就職等の相談のほか、心の相談等多岐にわたる深刻な相談に対応し、区民に貢献している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:相談員の資質の向上、他部署との連携に努めることにより、成果を高めることができる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容:電話相談については匿名で行っており、受益者負担は困難である。法律相談・心の相談については、受益者負担を求めることは可能。ただし、区における他の相談業務と歩調をそろえる必要がある。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:相談内容が多様化しており、17年度は相談件数が減っているものの、より密度の濃い相談が必要となっており、コスト削減は区民福祉の観点から適当ではない				
	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題					
(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	<b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 多様化している区民の相談に適切に対応できるよう、今年度中に区関係機関と連絡調整を行う機会を設ける。また、各相談員が均質な相談業務を行えるよう、ケーススタディや、専門家からアドバイス求める場等を確保し、相談技術の向上を図る。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 相談業務を行っている他部課との連絡調整を行う。また、一般相談員と弁護士・心理療法訓練指導員と定期的に打合せを行い、個々の相談者へよりよい相談を行うとともに、相談員の技術の向上を図る。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	内部職員の連携を検討しており、予算の増減はない

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女共同参画推進のための啓発・調査研究				整理番号	131		枝番号		
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201		連絡先電話番号	3793		昨年度整理番号	128
係名				男女共同参画推進担当				上位施策名		No	
予算事業名				男女共同参画の推進		コード	11900		男女共同参画社会に向けた環境整備		69
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		3年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 男女共同参画社会基本法				
	区民 職員 各主管課						(2) 杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱				
							(3) 杉並区男女共同参画推進会議設置要綱				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
資料集や啓発誌、推進誌等を作成し、区民、団体、職員等に配布する。 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査を実施する。(前年度の事業の推進状況を各課ごとに調査する。)				男女平等・男女共同参画についての理解を深める。 各主管課が施策の事業実績及び内容や状況を区民に明らかにすることで、男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画を着実に実行することができる。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 啓発誌作成部数 + 推進誌作成部数				(1) 啓発誌配布数 ÷ 啓発誌作成部数							
(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査対象事業数				(2)							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		部	1,600	7,800	4,700	1,900	2,600	2,900	65.5	
	活動指標(2)		事業	448	435	106	192	106	106	181.1	
	成果指標(1)		%	91	97	90	90	90	95	94.3	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	667	1,616	5,083	2,896	1,741	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0			
	(内)委託費		千円	0	0	3,710	2,205	0			
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.00	0.85	0.90	0.88	0.90			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	8,994	7,735	8,154	7,973	8,154		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	9,661	9,351	13,237	10,869	9,895			
	単位あたりコスト( - )÷		円	6,038	1,199	2,816	5,721	3,806			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	9,661	9,351	13,237	10,869	9,895				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		男女共同参画に関する意識と生活実態調査(委託等)					1	回	2,205		
		男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査					1	回	498		
		調査研究							70		
		普及啓発							123		
		その他							0		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	40.4	活動指標(2)の17年度達成率%	181.1	17年度予算執行率%	57.0
		「男女共同参画に関する意識と生活実態調査報告書」の落札差金が生じた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成17年度に行った「男女共同参画に関する意識と生活実態調査」の結果を踏まえ、男女共同参画関係施策に反映させる。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	「男女共同参画社会基本法」や「男女共同参画基本計画」が制定されるなど、男女共同参画社会の実現は21世紀におけるわが国の最重要課題のひとつと位置づけられている。平成17年12月には、「男女共同参画社会基本法」に基づき、男女共同参画基本計画(第2次)が閣議決定された。政策・方針決定過程への参画の拡大、働き方の見直しを含めた仕事と家庭・地域生活の両立支援など、幅広い事項が盛り込まれている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	「職場の中で男女共同参画がどれだけ進捗しているか、区内事業者等へ実踏調査してほしい。」という意見がある。					
	今後の予測	合計特殊出生率の低下、少子高齢社会の成熟、フリーター・ニート等の増加による就労形態の変化が予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 区の状況を調査研究し、それに基づき区民、団体、職員等に、男女平等に関する意識啓発や情報提供することにより、男女共同参画社会の実現を訴え続けることができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 区民、団体(区内事業者等)に対する意識啓発の方法を工夫する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 男女平等・男女共同参画についての理解を深めるために啓発するのであり、事業の性格上、受益者負担は適さない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 現在も、必要最低限の経費で行っている。					
	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 ・男女共同参画の視点からの区民の意見を集約するため、区民懇談会に部会を設置した。区民懇談会委員の意見を掲載した「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査報告書」を作成した。						
(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )							
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 男女共同参画をめぐる状況を常に調査研究し、効果的な事業を展開する。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民、団体(区内事業者等)に対する意識啓発の方法を研究する。							
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	テーマ別啓発情報誌を作成する。					



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女共同参画の推進				整理番号	132		枝番号		
担当部課名	区民生活部文化・交流課			コード	051201	連絡先電話番号	3793		昨年度整理番号	129	
係名	男女共同参画推進担当				上位施策名				No		
予算事業名	男女共同参画の推進			コード	11900		男女共同参画社会に向けた環境整備				69
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 男女共同参画社会基本法						
	公募区民、団体代表、関係機関、学識経験者、地域団体、職員				(2) 杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 男女共同参画推進区民懇談会:委員(公募区民を含む)及び幹事(職員)で、男女共同参画とその関係施策について区民の意見の集約を図る。 男女共同参画都市宣言記念事業:例年12月の宣言時期にあわせて行うパネル展示のほか、各種事業を実施する。				(3) 杉並区男女共同参画推進会議設置要綱						
活動目標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
(1) 男女共同参画推進区民懇談会等の開催回数				区における男女共同参画関係施策の総合的・計画的推進に寄与する。 男女共同参画都市宣言記念事業を実施することで、区が宣言都市であることを知ることができる。							
(2) 都市宣言記念事業参加者数				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標							
				(1) 審議会等への女性の参画率							
				(2) 杉並区が男女共同参画宣言都市であると知っている人の割合							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		回	10	4	10	10	12	15	66.7	
	活動指標(2)		人	322	300	300	300	300	400	75.0	
	成果指標(1)		%	36	39	39	37	39	40	92.4	
	成果指標(2)		%			15	32	40	45	70.9	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,864	536	1,081	703	2,936	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 18年度は「男女共同参画をめざす杉並区行動計画」を改定するため、事業費増となっている。		
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.11	0.95	0.90	0.99	0.90			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	9,983	8,645	8,154	8,969			8,154
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++		千円	11,847	9,181	9,235	9,672	11,090			
	単位あたりコスト( - )÷		円	1,184,700	2,295,250	923,500	967,200	924,167			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	11,847	9,181	9,235	9,672	11,090				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		男女共同参画推進区民懇談会の開催					10	回	499		
		全国男女共同参画宣言都市サミットへの出席					1	回	204		
		その他 ( )							0		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	65.0
		男女共同参画推進区民懇談会委員の謝礼残が生じた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成17年度に行った「男女共同参画に関する意識と生活実態調査」の結果を踏まえ、男女共同参画関係施策に反映させる。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区は、平成9年12月1日に男女共同参画都市宣言を行い、平成14年10月に内閣府と共催で全国男女共同参画宣言都市サミットを開催した。男女共同参画都市宣言は、区の刊行物等に宣言文を掲載したり、催しの際に宣言文を掲示したり、日々普及に努力している。 平成16年3月、「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」を改定した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	「真の男女共同参画社会を目指すためにも、区役所が見本となってほしい。」という意見が多い。					
	今後の予測	「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」に基づいた施策が、どれだけ推進できるかという期待がますます大きくなる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 記念事業の開催により、男女共同参画宣言都市であることを区民に周知できる。また、男女共同参画についてのさまざまな課題を男女共同参画推進区民懇談会委員とともに認識し、意見を集約して問題解決を図る。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: より多くの区民に男女共同参画、男女共同参画宣言都市であることを普及、推進する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 男女共同参画の推進という事業の性格上、受益者負担は適当でない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 現在も、必要最低限の経費で行っている。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 ・男女共同参画の視点からの区民の意見を集約するため、区民懇談会に部会を設置した。区民懇談会委員の意見を掲載した「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査報告書」を作成した。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 男女共同参画社会を実現するため、区民の意識と実態を把握し、効果的な事業を展開する。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区役所全体が一丸となって、継続的かつ着実に行動計画を実行する。							
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	杉並区は平成19年12月1日に男女共同参画都市宣言10周年を迎える。都市宣言の周知度が高まるような事業を予定している。					